



クローバー通信

第205号

令和6年4月10日発行



〈医療法人社団 佐々木クリニック 介護老人保健施設 クローバー〉

〒191-0054

日野市東平山 3-1-1

☎042-585-8061



【 早咲きの桜の花びらが、よちよち歩きの保育園児の肩にひらりと 】

春の温かさと、新型コロナウイルス、インフルエンザ感染の交代を願う日々です。

ご利用者の皆様、ご家族の皆様には、感染防御の対策のために、多大なご協力をお願いでき、もう少しで落ち着きそうです。

先日、保育園ひよこハウス豊田のキリン組の卒園式が終わりました。卒園児は、この4月からは、ランドセルを背負って、ピカピカの小学1年生になります。

この園児たちは、ご利用者の皆さんに、6年間の楽しくお付き合いいただき、人生を学びつつ、本当にありがとうございました。

核家族化が進み、いろいろな人との付き合いに乏しい園児にとって、グリーンルーム、クローバー・ローズマリー、シンフォニアの皆さんとの交流は、とても貴重な体験です。

おじいちゃん、おばあちゃんとのふれあいで、人生の大先輩から、いろいろなことを学べる、いい機会になっています。赤ちゃんからお年寄りまでの施設だから、そんな「学び」が日常的にできるのです。

4月からは、皆さんの、ひ孫のようなハイハイやよちよち歩きの子どもが、保育園ひよこハウスに登場します。

20年前（2003年）に、当法人は、このような園児と高齢者とのふれあいの場をつくりました。（当時の読売新聞の地方版の記事になっています）。それが、拡大して、2006年には、今日ある複合施設に成長しました。

4月から、中庭や園庭には、ニューフェイスが登場しますので、窓越しでも、元気に遊ぶ子どもたちを見守ってください。ついでに子どもたちのエネルギーをもらい、より元気になりましょう。

ふれあい農園には、菜の花が咲き、遠くに雄大な富士山が見えて、春のすばらしい景色です。

まだコロナの感染が終息せず、一部、不自由な生活が続きますが、職員一同、ご利用者・ご家族の皆様のご協力をいただきながら、皆様の充実した生活のため

に努めてまいります。

佐々木 榮一

